

○参加報道機関（敬称略）

南信州新聞社、信濃毎日新聞社飯田支社、中日新聞飯田支局、朝日新聞飯田支局、
飯田エフエム放送(株)

○会見内容（敬称略）

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

3月第2回定例記者会見にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、既に3月13日の記者会見において部課長級の人事異動をご案内していますが、
課長補佐級以下の人事異動について発表いたします。

よろしく願いいたします。

3 発表事項

（1）令和2年4月1日付け人事異動内示【総務部】

飯田市長

令和2年度は「いいだ未来デザイン2028」前期4年の最終年にあたり、「人を育て、
人を呼び込む、人材サイクルの構築」、「防災、減災対策を重点に安全・安心な暮らしへ
の取り組み」、「飯田の未来づくりの基幹となるリニア・三遠南信自動車道の整備推進」、
この3つの柱をもって持続可能な地方再生を図っていくための組織体制、人事配置とし
ました。異動規模としましては、総数が部課長級の47人を含み357人で、例年並みの規
模となっています。

特徴的な事項を申し上げますと、ひとつ目は、リニア本線・関連事業の推進です。本
格化するリニア事業への対応として、代替地など整備計画に係る移転を迅速かつ集中的
に進めていくため、リニア用地担当参事を配置するとともに、リニア用地課には移転に
関する調整業務の一元化を図り、「用地調整係」を新設しました。今後も地元の皆さまの
気持ちに寄り添ったきめ細やかな対応を行っていきます。また、リニア推進課には、新
たなモビリティへの取り組みのほか、リニア中央新幹線事業の推進にあたり、特に長野
県との連絡調整を担うため、県から派遣いただいた職員を課長補佐として配置します。
そして、リニア整備課におきましては、駅周辺整備事業の実施設計に着手します。リニ
ア推進部全体としても配置職員数の増強を図り、「人を中心とした21世紀の駅づくり」
に向けた、次の段階に踏み出します。

ふたつ目の特徴的な事項は、地域福祉向上の取り組み強化です。長寿支援課の「地域包括ケア係」は、健康寿命の延伸と、支え合いによる地域福祉を向上させる取り組みを進めるため、名称を「基幹包括支援センター係」に変更し、適正な介護サービス利用や身体能力の維持・改善への啓発に向けた総合相談窓口機能を充実します。また、各地域包括支援センターの統括と連携を強化するためスタッフを充実します。

3つ目は、地域人育成と教育関連事業の推進です。地域人育成担当参事がラインの長として陣頭指揮を執れるよう生涯学習・スポーツ課長を兼務するほか、飯田らしい小中連携・一貫教育と多様な学習交流を推進します。

4つ目は、医療体制の拡充です。薬剤部を新設し薬剤部長を配置するほか、診療部における医師の昇任、診療技術部・看護部での新規採用職員確保等による医療体制の充実を図りました。

その他詳細につきましては、資料のとおりです。

資料に基づき説明

説明者：総務部長、人事課長

〈質疑応答〉

南信州新聞社

女性管理職の割合は、類似団体と比較するとどのような状況ですか。

飯田市長

割合を比較しますと、長野県内では高く、全国的には標準並みです。また、民間事業者との比較では、低い割合となります。

4 その他

○新型コロナウイルス感染症について

南信州新聞社

現状に対してどのように受け止めていますか。また、今後の対策について教えてください。

飯田市長

3月10日、全国市長会副会長の立場で、官房長官に対し、全国市長会と全国町村会の要請活動を行い、そのなかで、地域経済対策等を求めてまいりました。

経済の活性化は人の動きが前提ですが、今回は様々な活動を自粛しています。よって、リーマンショック時とは違って、地域経済から深刻な状況が広がっています。当地域では、飯田商工会議所の音頭で緊急経済対策会議が開催され、サービス業を中心とした深刻な現状を共有し、今後の支援策について意見交換を行いました。お互い励まし合いながら、地域が一丸となってこの我慢の時期を乗り越えていきたいと思っています。

南信州新聞社

明日、イベント等自粛期間の最終日となる19日を迎えますが、どのように対応しますか。

飯田市長

改めて国から3月19日頃に事態の収束をどのように判断するか示されると思っていますので、市としましては、その見解を待っている状況です。その内容によって市対策本部でどのように対応していくか検討してまいります。

南信州新聞社

自粛期間は延長しますか。

飯田市長

今後の見通しが明らかになっていない状況ですので、現時点で判断することは難しいです。

信濃毎日新聞社

今後予定されている恒例イベントについて、中止や延期が決まったものはありますか。

飯田市長

実行委員会や担当部局それぞれへ直接問い合わせていただきたいと思います。

南信州新聞社

「焼肉食文化のまち連合」設立のキックオフイベントは開催しますか。

飯田市長

まだ決まっていません。現在は、事態の収束が見えず、トンネルの出口が見えていない状況で、「早くトンネルを脱しましょう。」という現状です。

中日新聞

飯田市内で感染者が確認された場合、どのような対応になりますか。

飯田市長

対策本部でその内容を決めることとなります。概ね、既に感染者が確認されている地域と同様な対応になると思われます。

中日新聞

先日作成されたタイムラインどおりに対応しますか。

飯田市長

まだ有用性が検証されていないので、確認しながら進めていく必要があります。

5 閉会

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理したうえで作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)